



# 地本NEWS

2014年  
11月20日  
自治労北海道  
網走地方本部  
2015第2号

2014賃金確定闘争勝利にむけ、最後まで闘おう!!  
地方公務員賃金の自主的・主体的決定を勝ち取ろう!!

明日、11月21日は、

## 自治労「第2次全国統一行動日」 道本部「全道統一行動日」

2014賃金確定闘争は、10月24日の第1次全国統一行動日における「要求書」の提出を闘争のスタートとしたたかかってきました。

それぞれの自治体における議会日程などの関係から山場を前倒しした単組総支部が多くあるなか、地本・各単組総支部が情報を共有し全体化しながらたたかいて進めてきました。

11月20日現在の網走地本・道内各単組における妥結状況は次のとおりです。

### 【網走地本】

- ① 要求書提出状況
    - ・賃金統一要求書 118 単組総支部
    - ・現業公企統一要求書 111 単組(統一要求に付加を含む)
    - ・人事評価制度要請書 15 単組
  - ② 回答状況
    - ・賃金統一要求書 1217 単組総支部
    - ・現業公企統一要求書 12 単組
  - ③ 交渉状況
    - ・実施 19 単組(書面確認 2 単組)
  - ④ 妥結状況
    - ・2014ベースアップ実施 1918 単組
    - ・1号俸抑制しない 19 単組
    - ・給与の総合的見直し 141 単組総支部、  
継続協議 5 単組
    - ・現給保障 3年間 11 単組(3年後再協議 2 単組)  
年限なし 3 単組
- 【道内】
- ★「2014給与改定」年内差額支給 103 単組
  - ★給与制度の総合的見直し課題 74 単組
  - ◇2014年中の決着見送り 24 単組
  - ◆導入妥結 99 単組
  - ★昇給1号俸抑制なし妥結・抑制なし提案 99 単組

## 2014自治体確定闘争ヤマ場 にむけたメッセージ

2014自治体確定闘争ヤマ場の総決起集会・職場集會に結集した組合員の皆さんに、心

から敬意を表し、自治労中央闘争委員会を代表して連帯のあいさつとたたかいの決意を申し上げます。

11月12日、給与法改正法案等が参議院本会議で可決され、成立しました。与党が多数を占める中、衆参両内閣委員会でも附帯決議が採択され、地方公務員の賃金に関し、「地方自治体の自主的・主体的決定」が盛り込まれたことは、今後の確定闘争に寄与するものと評価することができます。

これまでの労使交渉で、多くの単組では、今年度の給料表・一時金の引き上げと総合的見直しに関する課題を切り離し、まずは引き上げ部分の決着を図りつつあります。一方で、すでに来年4月からの総合的見直し実施での妥結・交渉終了を余儀なくされた単組でも、国とは異なる給料表改定による水準確保や、3年を上回る現給保障期間の確保、1号昇給抑制の阻止など、さまざまに取り組みが見られるところです。

昨日、安倍総理は、衆議院の解散を表明しました。まさしく、自らの政権の延命をねらっためだけの姑息かつ大義なき衆議院解散・総選挙です。公務員賃金は、これまでもたびたび政争の具とされており、今回の「給与制度の総合的見直し」も、自民党が公務員人件費の削減を政権公約とし、その意向を受けた形で人事院勧告が行われたことを踏まえれば、これ以上、自民党の暴走を許す結果を出すことは、断じてあってはなりません。

春闘期から続く一連のたたかいは、今、まさに大きなヤマ場を迎えています。理不尽な給与削減を許さず、自治労組合員の一層の団結で、交渉の強化をはかりましょう。あわせて、公共サービスを担う仲間だけではなく、広く地域民間労働者との連帯により組織を強化し、地域間格差の拡大に歯止めをかけていきましょう。

安心して働くことのできる社会を実現するため、皆さんとともに最後までたたかう決意を改めて明らかにし、連帯のメッセージといたします。

ともにたたかきましょう。

2014年11月19日

全日本自治団体労働組合  
中央闘争委員長 氏家 常雄